

受験を支える、読書！

～進学資料「求学志成」 合格体験記より抜粋～ 天草高校図書館

医療系の本や新聞を読みました。本は医療・看護系の小論文によく出る記事がまとめているもの（※）を朝読書の時間を利用して熟読し、新聞は切り抜いてノートに貼りました。これは小論文にも役立つことなので、コツコツ取り組むことが大切です。図書室には小論文対策のコーナーや、新聞の切り抜きが分野ごとにまとめているものがあるので、ぜひ探してみてください。※雑誌「切り抜き速報 医療と安全管理」 （R1 鹿児島大学 合格）

小論文・面接練習は練習はあるのみです！小論文対策も兼ねてネタ集め（おススメは、雑誌「新聞ダイジェスト」や新書、テレビ「クローズアップ現代」の視聴）はもちろん、寝室に受験レポートもあるので（もちろん私のもの）、進路室も活用しながらやるといいと思います。（R1 広島大学 合格）

小論文は、知識がないと書くことができないので、栄養に関する本や新聞記事を読みました。3年になって苦労しないように、1・2年のうちから自分が興味のある分野の本や新聞記事に目を通しておくといいと思います。（R1 熊本県立大学 合格）

普段の読書に英語で書かれた本を取り入れることも効果的です。私は2年生になってから英語の本を読み始めましたが、そのおかげで長文を読むスピードが速くなりました。（R1 公務員 合格）

私には英語をととても勉強したという記憶がないのですが、日頃の模試だけでも英語が安定して好成績を残せていました。その理由として思い当たるのは、読書です。読書といっても、朝読書の時間に英語で書かれた本を読んでいた。長時間ではありません。最初は友達に勧められて読み始めたのですが、みるみるうちに読解力や読むスピードが上がりました。知らない単語を文脈から判断して読む力も試験では重要です。興味がある内容の英文を毎日少しずつ読むだけでこのような力が身につくのはとてもお得でした。

（H31 広島大学 合格）

私は、2年生の秋から新聞を読み、気になった記事や自分がなりたい職業に関する記事をノートに貼り、その記事を見て感じたことを書いていました。実際に面接で聞かれて役に立ちました。全部に目を通す時間は無くても、自分が目指している分野に関する記事は読むようにしましょう。面接にすごく役立ちます！ （H31 海上保安庁 合格）

センター試験から二次試験までの約1ヶ月間に行なったことは、新書を読むことです。教育、英語、医療など、法律に限らず色々な分野を網羅し、具体例や論証に使えるようにしました。小論文は作文と異なり、文章に論理性が必要となるため、知識が多ければ多いほど有利であることは間違いないと実感しました。また、新聞を切り取り、要約することも毎日継続しました。

(H30 北九州市立大学 合格)

小論文は、はじめは何を書いたらよいのかわからなくて、原稿用紙に文字を埋めるので精一杯でした。小論文は、知識がないとなかなか埋まりません。そこで私は、図書館で医療記事がまとめてあるスクラップを借りて読んで、要約や感想を書いたノートをつくりました。面接などでも役に立ったので、よければ参考にしてください。

(H29 熊本労災看護専門学校 合格)

英語は好きな時間に何時間でも触れていました。家に帰って少し暇だなあと感じたとき英語単語帳を眺めたり、英語で書かれている本を図書館で借りて読んだりしていました。

(H29 北九州市立大学 合格)

小論文ですが、これはどれほどの知識を蓄えられるかがカギです。『朝日キーワード』などの時事ネタをまとめた本を常に携帯しておきましょう。(実際に私も担当の先生からずっと言われ続けていきました。)また、受験の前にその学部系統で仕事をしている人を尋ねて情報収集をするのも手です。私も市役所観光課、観光協会、アマビズなどへ足を運び得た知識も受験本番で多いに役立ちました。

(H29 高知大学 合格)

私はよく本を読んでいました。いろいろなジャンルの本を読んでいて、ある日出会った本で自分の夢が見つかりました。本をたくさん読んで、世の中について知ることや、自分の夢の引き出しを増やすことはかなり大切だと思います。新聞や起業の雑誌を読むことも、小論文を書く上で役立つので活用すべきだと思います。

(H28 宮崎大学 合格)

前期試験は小論文のみだったため、添削指導と並行して行なったのは、図書館にもある「新聞ダイジェスト」や、新書・ブックレットの内容をノートにまとめることです。ブックレットとは新書の薄い版のようなもので、こちらも借りられます。新聞記事も本もただ読むだけより、自分の手でまとめたほうが武器になります。余談ですが、私は、一番よく読みこんでまとめたブックレットの著者の文章が本番試験で出題されました。

(H27 奈良教育大学 合格)

気分転換に『ドラゴン桜』という漫画を読むことをお勧めします。この漫画は図書館にもあるので是非読んでください。これを読んだ後では、「自分も東大にいけるのではないか…」という気持ちになります。

(H27 鹿児島大学 合格)

小説はもちろんのこと、高校では新書を読むように心掛けていました。1・2年生の時にたくさんの本を読むことをお勧めします。本は自分の知識を向上させ表現力や語彙力も身につけることができます。天草高校図書館を利用し、自分自身の知性を伸ばしていきましょう。

(H26 国家公務員 合格)

高校入学以前からもよく本を読んでいたのですが、天高に入ってから読書は趣味としてだけでなく、勉強のためにもするようになりました。自分が今まで読んだことのないようなジャンルの本をたくさん読んだり、普段なら読み流してしまうような語句をひとつひとつ確認したりといったことを習慣づけ、できるだけ毎日本を読み続けました。この習慣は、3年生になって受験勉強に入ったとき、何度も私を助けてくれました。普段あまり本を読まないという人は、自分の好きな映画やドラマの小説版、ライトノベル、ケータイ小説などは読みやすいと思うので、まずはそこから読んでみてもいいと思います、そして出来れば読書を習慣づけてみてください。天高には朝の読書タイムがあるので、有効利用しましょう。

(H26 大阪大学 合格)

夏休みから自分の行きたい学部、学科関連の本を図書館から借りて読んでいました。理系で小論文や面接がある人たちは絶対に新書や科学雑誌を読むべきだと思います。

(H25 名古屋大学 合格)

私はつい本を読んでしまって時間が過ぎることが多かったので、まずは本棚を紙で塞ぎました。英語の苦手意識が払拭できていなかったなので、朝読書では興味のある分野の英語の本を読むようにしました。

(H25 九州大学 合格)